

山口森林管理事務所における民国連携の取組について

～地域に愛される国有林を目指して～

近畿中国森林管理局 山口森林管理事務所 中嶋 俊介
平尾 夏郁子

1 はじめに

近年、林業を題材にした映画の公開や山の日の制定など、森林に関するニュースをメディアで見る機会が多くなったことから分かるように、国民の森林への関心は高まっているといえます。

その一方で、森林について興味があり、森林の重要性についてもなんとなく理解しているが、実際に森林に触れ合うきっかけや時間がない人も多いというのが現状です。

そこで当所では、地域の方々にもっと森林の魅力を伝え、触れ合いを深めてもらい、森林に関わる行動を起こすきっかけをつくってもらおうと、市や関係団体と協力して様々なイベントや取組を実施してきました。

2 課題を取り上げた背景

近年、女性の社会進出の場を増やそうと各地で様々な取組が進んでいる中、林業・木材産業の分野において女性の割合は非常に少ない状況となっています。

そこで今回当所では、女性(特に 20 代から 30 代の若い世代)をメインターゲットに、①森林に関わりをもつきっかけをつくる、②普段の生活の中でも森林は身近にあるということを知ってもらう、③森林に関わる女性の生き方や選択肢を知るヒントにしてもらう、といった目的のもと山口市や国立山口徳地青少年自然の家などの関係団体と協力して、森林フォーラム「おいでませ森へ～森ではたらく女性が語るその魅力～」を主催しました。

このフォーラム実施にあたっては、当所の若手職員が中心となって、6月下旬から企画やプログラムの立案、スケジュール管理や会場設営などの構想、関係者との調整から広報活動までを約4ヶ月で行いました(写真1、図1)。



写真1 若手職員による打合せ風景



図1 配布したチラシ

3 取組の経過

(1) 企画立案時に工夫した点

フォーラムを誰もが参加しやすく、かつ若い女性を呼び込める内容にするため、当所が工夫したポイントが大きく5つあります。1つ目は、女性が小さな子供を連れてでも気軽に参加できるように、託児サービスを行ったことです。2つ目は、開催地が市街地から車で40分と離れているため、移動手段のない人でも参加できるように、山口市内から送迎バスの運行をしたことです。3つ目は、参加された若い女性に親しみをもってもらうため、森林や林業に関わりのある若い女性をパネリストとして招いたことです。4つ目は、この取組を広く周知するため、山口市内の全ての幼稚園から大学までにもチラシを配布し、広報活動を行ったことです。最後に、フォーラムのタイトルにもあるように全体的に、何だかふわっとさせることです。森林に関わりのない人でも、チラシを見て「何だかよく分からないけど面白そうだからとりあえず行ってみよう！」と気軽に参加できるよう、内容や会場の雰囲気づくりを行ったことがもっとも工夫したポイントです。

(2) 取組のプログラムと内容

フォーラムでは、午前の第一部に基調講演、第2部にパネルディスカッションを実施し、午後からは森林散策や紙芝居、アロマスプレーや木工品作りを行いました。

基調講演は、林材ライターとして全国的に幅広く活躍されている赤堀楠雄さんを講師として招きました。講演では、「森と人の物語」と題して、赤堀さんが今までの取材で出会った森林・林業に携わる人の紹介をしながら、森林の魅力や、人が森林から受けている恩恵について話していただきました。内容は森林・林業に関わりのない方にも分かりやすいもので、参加者には真剣に頷きながら聞いたり、メモや質問をされたりする姿が見られました(写真2)。



写真2 赤堀さんによる基調講演及び参加者の様子

パネルディスカッションでは、コーディネーターは引き続き赤堀さんをお願いし、パネリストには実際に森林で働いたり、森林に関わる活動をしている女性4名を招き、森の魅力について語っていただきました。パネリストとして招いた方は、森での体験活動や身近に木や森と触れ合う活動を展開している林業女子会@山口の木村さん、国有林の事業も請負う林業会社で、森林作業道の測量や社有林のデータ管理などの事務も担当している吉川林産興業株式会社の隅さん、山口県のカルスト森林組合に勤務し、実際にチェーンソー伐倒や林業機械の運転もしている西村さん、当所で治山・土木業務を担当し、ふれあいイベントで紙芝居作りも手がけている平木さんです(写真3)。

パネルディスカッションでは、まず森林や林業にかかわることになったきっかけを紹介していただきました。そして、現在の森林との関わりや、それぞれが感じる森林の魅力についてざくばらんに語ってもらいました。

参加者のほとんどがこのパネルディスカッションを楽しみに来られた様子で、会場からは笑い声が聞こえるなど終始賑やかな様子でした（写真4）。



写真3 左から木村さん、隅さん、西村さん、平木さん



写真4 パネルディスカッションの様子

午後からは、森林散策、子供や親子を対象に当所職員による手作り紙芝居の上演、マツのキーホルダー作りを行いました。

最後にヒノキの精油を使ったアロマスプレー作りを参加者全員で行い、会場がヒノキの香りに包まれ、子供から大人まで笑顔で全プログラムを終えることができました(写真5～8)。



写真5 森林散策の様子



写真6 マツのキーホルダー作りの様子



写真7 職員による紙芝居の様子



写真8 アロマスプレー作りの様子

4 結果と考察

実施したフォーラムの反響や、今後の取組に向けての反省点を調査するため、参加者へアンケート調査を実施しました（別紙1）。なお、フォーラムへの参加は事前申込みを原則として実施し、定員100名程度で企画していましたが、当初163名の申込みがあり、キャンセルなどもありましたが当日の参加者は122名と託児19名で、全体で141名となりました。参加者の男女比は、男性45名、女性77名となり、企画をたてる段階で工夫した点の効果もあり、63%を女性が占める結果となりました。

また、特に女性に焦点を当てた取組であるため、取組結果は女性の回答を基に反響を把握し、今後の取組に向けての反省点を考察しました。

(1) 女性参加者の年齢別割合（図2）

女性参加者のうち、30代の方々が一番多い結果となりました。小さな子供を連れた女性や家族で参加される方が多く見られ、託児サービスを設けた成果もあり、「子供がいても参加しやすく、助かった。」といった意見もいただきました。

(2) 居住地割合（図3）

参加者の9割以上が、山口県内にお住まいの方でした。県外からは、福岡、島根、広島、兵庫など近隣県からも参加いただきました。

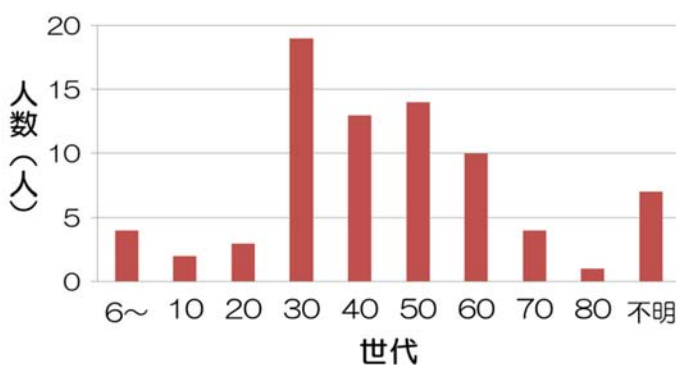


図2 女性参加者の年齢別割合

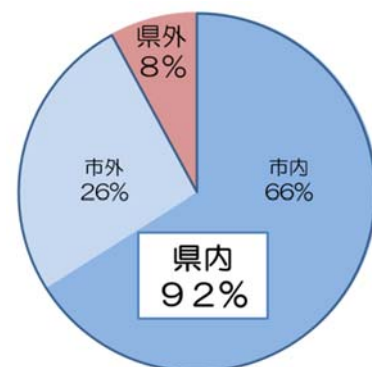


図3 居住地割合

(3) フォーラムを知ったきっかけ (図4)

「友人・知人の紹介」が半数以上を占め、「チラシを持っていた知人から今回のフォーラムについて知った。」といった意見も多くありました。チラシの配布は、保育所や幼稚園、学校機関、役所など幅広く行いました。

また、山口市外など遠方からであっても、「友人・知人の紹介」で参加されている方が多くみられました。これらの結果から、集客については、ホームページの掲載は元より、今回のフォーラムでは特に情報源となるチラシ配布や市報への掲載等が、一般の方々の目に入りやすく、効果的であったと思われます。

(4) 職種割合 (図5)

性別に関係なく、普段森林に関わりを持たない方の参加が半数以上を占め、工夫を凝らせばこのように参加いただけることが分かりました。農林業以外の職種では、医療機関、土木・建設関係が最も多くみられました。

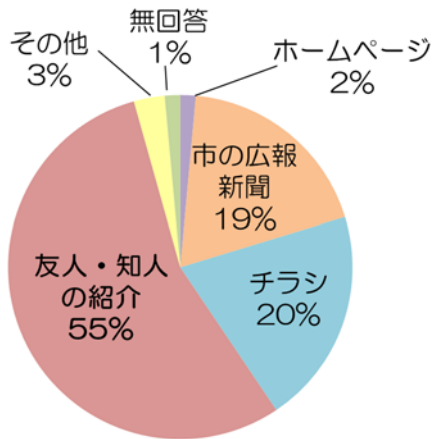


図4 参加のきっかけ

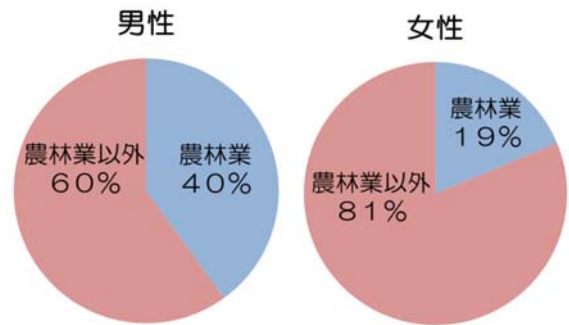


図5 職種別割合

(5) 参加した感想 (図6)

「森林に関わるイベントに参加したい」が約70%と多く、そのニーズが高いことが明らかになりました。全体的にも、様々な方法で山や森林に関わっていきたいと答えた人が多くみられました。これらの結果から、参加者の方々は、山や森林に対して好意的ではあるものの、直接的というよりは間接的に関わりたいという思いがあるとも考えられます。

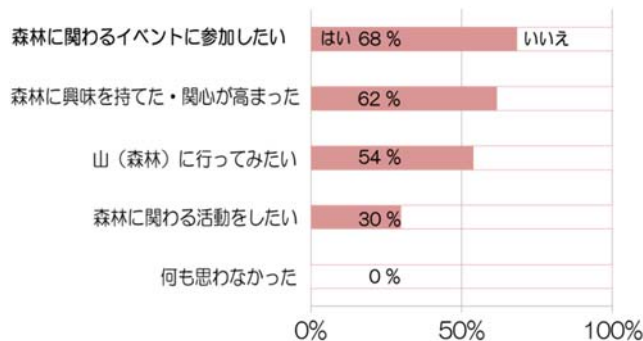


図6 参加した感想

(6)参加者の意見・感想

「林業＝男性というイメージがあったので、若い女性が活躍しているのを知り、驚き・関心しました。」「孫や娘の職業の選択肢になると思った。」などの意見が多くありました。また、「森林で働く女性の職場環境や、実態についてもっと話して欲しい。」などの要望もありました。

5 課題及び提案

若い女性を集客できるよう企画しましたが、10代から20代の参加者が少なかったことは今後の課題としてあげられます。その一方、森林に関するイベントへの参加に好意的な方々も多くいるという結果が出ているのも現状です。この反省点を改善する提案として、若い世代でも気軽に参加しやすいイベントを継続して実施していく必要があると考えます。

30代の親子に多く参加していただいた成果もありましたので、今後とも幼稚園や学校と継続してつながりを持っていくことが重要だと考えます。

また、会場が市街地から離れていたこともあるため、今後は市街地でも出来る取組も考慮する必要もあり、アンケートにもあった参加者からの要望にも答えられるよう企画を改善していきたいと思えます。

6 おわりに

今回の取組を行うにあたって、市や関係団体からたくさんのご支援・ご指導をいただきました(図7)。これらの方々のご協力がなければ今回のフォーラムの成功はなかったことから、地域との日頃からの連携や情報交換の大切さを改めて感じる機会となりました。

今回の取組を、すぐに「女性の新たな職業の選択」といったところに直結させることは難しいかもしれませんが、参加いただいた人から、次の人へと伝わって地域の方々の森林に対する考え方や、認知度も広まっていくことを期待しています。

当所では今回の取組で見つかった反省点や課題を踏まえ、今後も地域の方々が森林に触れ合うことのできるイベントへの取組を、地域と連携し継続して実施していく考えです。

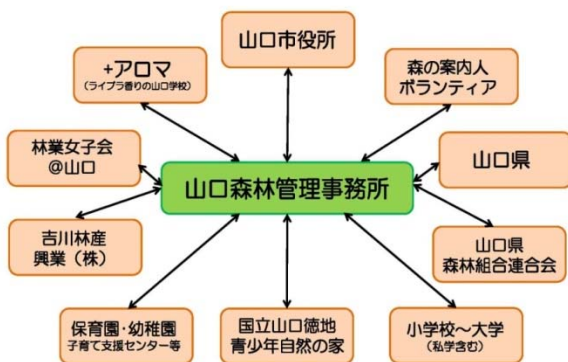


図 7

森林フォーラムに関するアンケート

☆あなたについて教えてください。 該当する項目に☑をお願いします。

- 1 性別 男 女
- 2 年代 10代 20代 30代 40代 50代以上
- 3 職業等
 会社員 自営業 公務員 団体職員 大学生 無職 その他 ()
- 4 職種
 農業 林業 農業・林業以外 ()
- 5 居住地 山口県内 (市・町) 山口県外 (都道府県)

☆今回のフォーラムのことについて教えてください。

- 1 参加のきっかけ
 ホームページ 市の広報や新聞 チラシ 知人・友人の紹介 その他 ()
- 2 基調講演についてどう思いましたか？
 よく理解できた ある程度理解できた あまり理解できなかった 理解できなかった
- 3 パネルディスカッションについてどう思いましたか？
 とても楽しかった 楽しかった まあまあ楽しかった 楽しくなかった
- 4 森林散策・アロマ教室についてどう思いましたか？
 とても楽しかった 楽しかった まあまあ楽しかった 楽しくなかった
- 5 今回のフォーラムに参加して、思った・感じた項目にチェックを入れてください。複数回答可
 森林により興味を持たれた・関心が高まった。
 山(森林)に行ってみようと思った。
 今後も森林に関わるイベントに参加してみたいと思った。
 森林に関わる活動をしてみたいと思った。
 な〜んとも思わなかった(泣)
- 6 フォーラムについて意見・感想をお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。気をつけてお帰りください。